熊本県天草家畜保健衛生所

天草家保通信平成27年9月号

〒863-0002　天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号　0969-22-3668　FAX番号　0969-24-4393
ホームページアドレス　http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219
電子メールアドレス　amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

これからの季節、問題となる豚の呼吸器疾病について！

夏が終わり、秋めいて朝夕は涼しい日が続いております。寒暖の差が激しいこの時期に夏の疲れもあって体調を崩される方が多いことと思われますが、それは豚も一緒です。

そこで、**寒暖の差、密飼い、過換気、乾燥等の環境ストレス**から生じる豚の呼吸器疾病について御紹介します。

- **豚呼吸器複合病（PRDC）**：肥育豚舎（90日齢～140日齢）で発生する**複数の病原体の感染**により、豚が呼吸器病を示した状態です。単一の病原体感染なら無症状もしくは軽い症状で済むものの、複数の病原体に感染することにより**呼吸困難（咳、努力性呼吸）**、**体重減少**を中心とした症状が強くなり、**治療費・増体及び飼料効率の低下・事故率の上昇**等で養豚農家の経営を圧迫します。

豚呼吸器複合病を構成する疾病

- 豚繁殖・呼吸障害症候群（ＰＲＲＳ）
- 豚サーコウイルス２型感染症（ＰＣＶ２）
- 豚マイコプラズマ性肺炎（ＭＰＳ）
- 豚胸膜肺炎（ＡＰＰ）
- ヘモフィルス性肺炎（グレーサー病）
- 豚インフルエンザ
- 連鎖球菌
- 萎縮性鼻炎

ＰＲＤＣで痩せ細った子豚　動衛研

農場内での豚呼吸器病対策

- 豚舎単位でのオールイン・オールアウト
- 過密飼育からの脱却（０．８５m²/頭以上）
- ワクチンの使用（サーコ、ＡＰＰ、マイコ肺炎、ＰＲＲＳ）
- 分娩後６～１２時間以内の子豚への確実な初乳給与、異常豚の隔離及び淘汰
- 飼養環境の改善による環境ストレスの低減

（豚舎の柵の一部にコンパネを付けて風除けできる場所を作る、一日の豚舎内温度差を２～４℃以内に抑える、豚舎内湿度を６０～７５％にする、豚舎内を清掃して微生物からのアンモニア等のガス発生、細菌感染及び豚の下腹部の冷えを防ぐ。）

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所　電話番号０９６９－２２－３６６８

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

熊本県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策マニュアルに基づく焼却作業検証の開催

去る９月２日（水）に、**熊本県高病原性鳥インフルエンザ（以下HPAI）防疫対策マニュアルに基づく焼却作業検証**が、農業大学校及び熊本市東部環境工場にて開催されました。県職員５１人、熊本県建設業協会から２人が参加し、見学者を含めて多くの関係者が出席しました。

昨年４月、球磨地域でHPAIが発生した際には処分鶏を埋却処理しましたが、処理終了後に水源への影響などが懸念されました。その後、年末年始に発生した他の発生県では焼却処理を行った県があったので、今後は焼却処理など埋却処理以外の防疫措置を検討していく必要があります。そこで、県内においてHPAIが発生し、**処分鶏を一般廃棄物処理施設において焼却処理を行う場合を想定**して、焼却作業検証を実施しました。

発生農場（農業大学校を使用）で殺処分した模擬鶏を搬出、箱詰め及びトラックへの積み込みを行い、東部環境工場へ運びました。熊本市東部環境工場では、事前の搬入経路の床、壁面の養生シート張り、トラック到着後、段ボール箱をゴミ投入口までの運搬、焼却炉への投入の訓練・検証を実施しました。また、同時に防疫服着脱及び作業後の全身消毒を行いました。一連の作業は全て画像、映像、所要時間が記録され、検証に活かされます。

万が一発生した際には迅速、適確な防疫作業が必要ですので、平時からこのような防疫演習で発生に備える事が重要です。また、**天草地域においても焼却処理を視野に入れた防疫措置を検討していく必要があると考えられますので、御理解と御協力をよろしくお願い致します。**これから渡り鳥の季節になり、HPAIの国内への侵入リスクはさらに高まるものと考えられます。畜産関係者の皆様におかれましては飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。

模擬鶏の梱包作業

トラックを消毒後、ブルーシートをはがす様子

海外悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生月日	畜種	型
高病原性鳥インフルエンザ	台湾	7月28日	あひる	H5N8
		7月２４日～7月２９日	地鶏、あひる、がちょう	H5N2
		8月25日	あひる	H5N8
		8月27日	地鶏	H5N2
	中国	8月3日	がちょう	H5N2
		8月6日	家きん	H5N6

9月１４日現在